

2018年度 クラブ経営情報開示資料 (先行発表)

2019年5月24日

公益社団法人日本プロサッカーリーグ
クラブ経営本部
クラブライセンス事務局

(1) 経営情報開示の概要

- ① 2018シーズンのJ 1、J 2、J 3全54クラブのうち、3月決算である柏・湘南・磐田・Y S横浜を除く50クラブにつき、5月に先行して経営情報（2018年度決算情報）を開示する
（湘南が1月決算から3月決算に変更となった。本資料では、比較の意味で2017年度以前の数値からも湘南は除外している）
- ② 7月には、全54クラブの経営情報を開示するとともに、Jリーグ全体の収入規模や各指標の比較等を加えた具体的な数値データの発表を行う予定である（「2段階発表」とする）
- ③ 2019シーズンよりJ 3入会の八戸については、J F L 在籍時の経営情報を参考として開示する

(2) 「2段階発表」を実施する背景

- ① JリーグおよびJクラブをサポート頂いている方々への迅速な情報提供
 - ・ JリーグおよびJクラブの公共性に鑑みると、適時適切な情報を提供することはJリーグの信頼性を向上していくうえで不可欠である
 - ・ クラブ経営への関心が高まることで、クラブに関わる方々がクラブとともに成長に必要な策を検討、実行していく機会も増加する
- ② クラブライセンス制度の透明性・公平性の担保
 - ・ クラブライセンス制度の浸透により、財務基準に対する世間の関心が高まっている
 - ・ 迅速な開示を行うことで、クラブライセンス審査の透明性と公平性を担保する

1 - 2. 主なトピックス



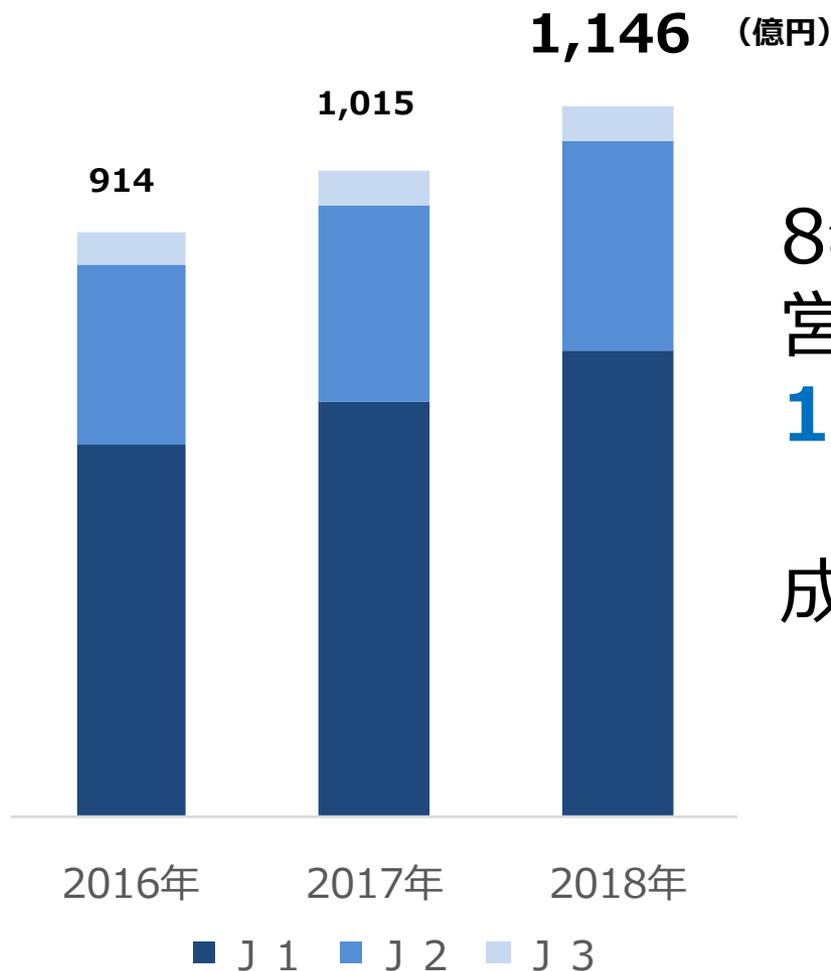
※ 3月決算クラブ（柏・湘南・磐田・Y S横浜）を除く

- (1) J 1・J 2・J 3 合計の事業規模は、**1,100億円を突破（成長率約112.9%）**
- (2) 前年と比較し、営業収益が約131億円増加（2011年度以降、8年連続増加）
同時に営業費用も約118億円増加し、**拡大均衡で推移**
- (3) 中でも、**ヴィッセル神戸**は**Jリーグ史上最高営業収益96.6億円**を計上
※これまでの最高額は、浦和レッズ2017年79.7億円
- (4) 36クラブが前年より営業収益を伸ばしており、
その内、**15クラブが高い成長率（平均以上）**を計上した
- (5) 増加した営業収益の投下先は、**チーム人件費に最も投下**されている
販売費および一般管理費も相対的に高い投下比率となった
- (6) J 1・J 2・J 3 全てのクラブでの3期連続赤字、債務超過ゼロが2015年度から続いていたが、F C 琉球に**3期連続赤字が発生（※ただし、財務基準には抵触しない）**

1 - 3. 営業収益合計



※ 3月決算クラブ（柏・湘南・磐田・Y S横浜）を除く



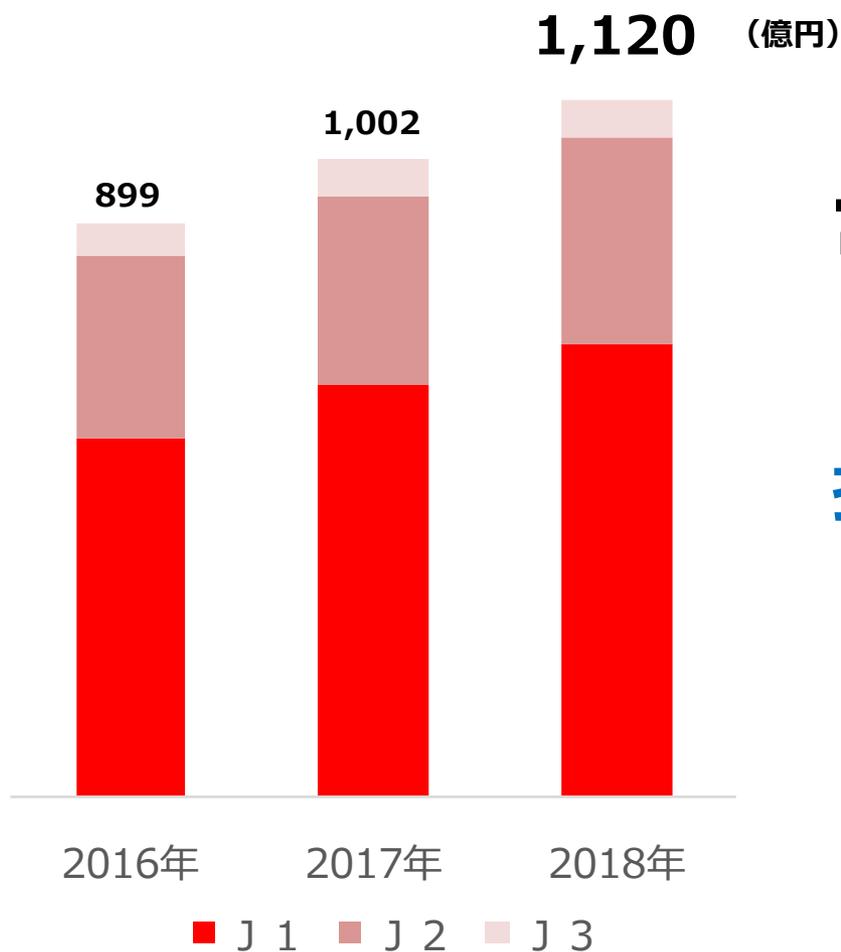
8年連続の増収により、
営業収益合計は
1,100億円を突破

成長率も**112.9%**と高い比率

1 - 4. 営業費用合計



※ 3月決算クラブ（柏・湘南・磐田・Y S横浜）を除く



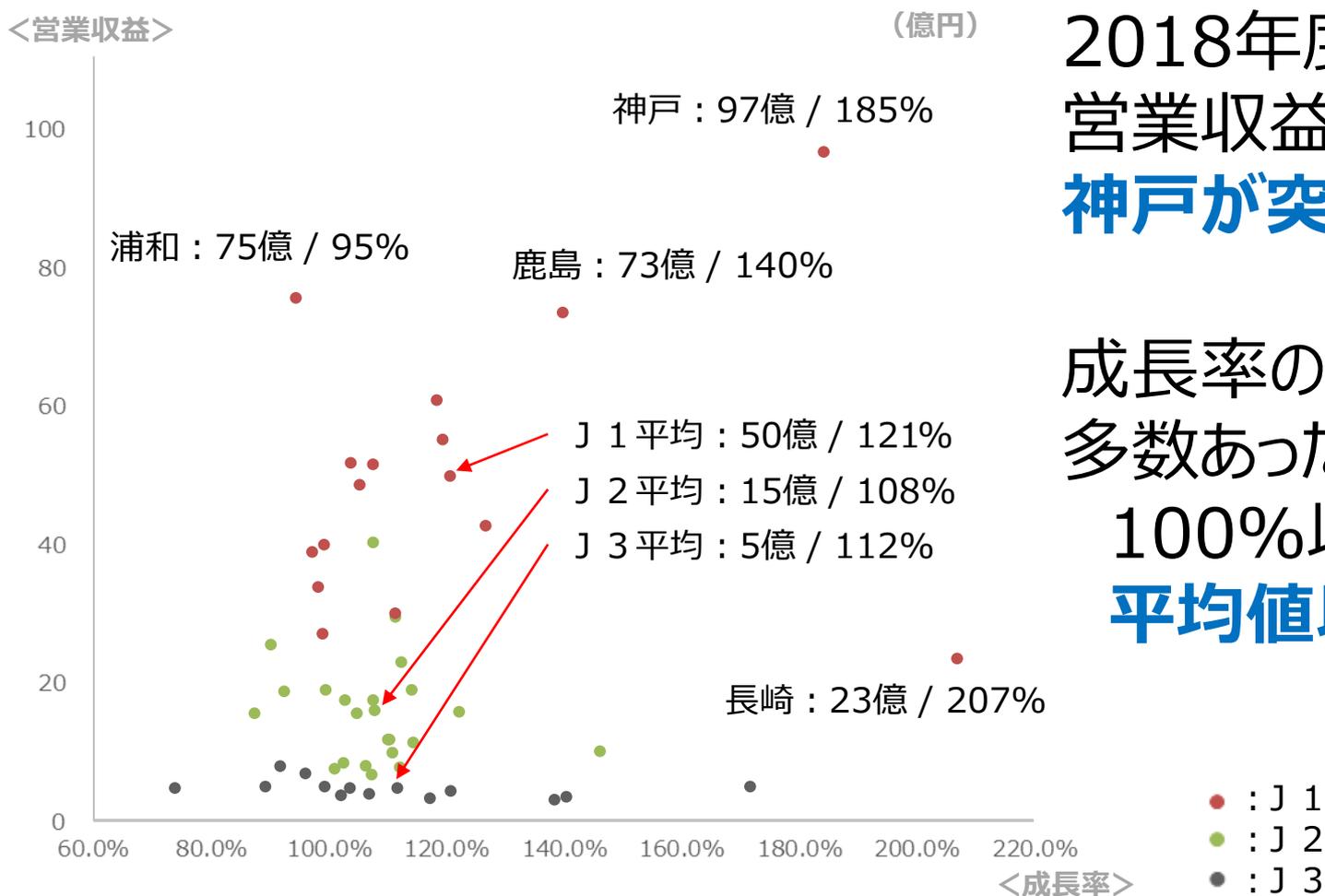
営業費用合計も
1,100億円を超える

拡大均衡にて推移

1 - 5. 営業収益・成長率分布



※ 3月決算クラブ（柏・湘南・磐田・Y S横浜）を除く



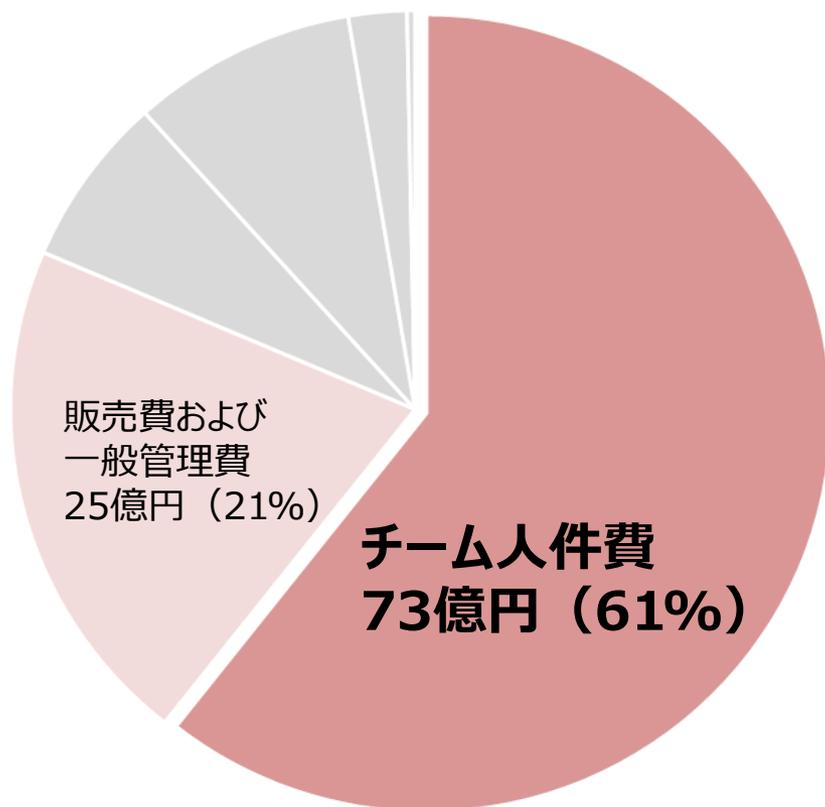
2018年度単年で見ると
営業収益・成長率ともに
神戸が突出している

成長率の高いクラブも
多数あった
100%以上36クラブ
平均値以上15クラブ

1 - 6. 営業費用増加額の投下割合



※ 3月決算クラブ（柏・湘南・磐田・Y S横浜）を除く



増加した営業費用の投下先は、**チーム人件費が突出**している

主にフロントの経費である
販管費も高い比率であった

1 - 7. 3期連続赤字・債務超過クラブ (J1・J2・J3)



※ 3月決算クラブ（柏・湘南・磐田・Y S横浜）を除く

- ・ **F C 琉球に3期連続赤字が発生**
- ・ 多くのクラブが積極的な投資を行ったことにより、赤字クラブは4クラブ増加し、2期以上連続赤字クラブは3クラブとなった

【2018年度のJ1・J2・J3クラブの財務状況】

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	該当クラブ (2018年度)
単年度赤字	16	12	6	13	13	17	札幌、仙台、清水、広島、鳥栖、町田、新潟※、山口※、福島、群馬、相模原、長野、富山、沼津、北九州、鹿児島、琉球※
3期連続赤字	5	1	0	0	0	1	琉球
債務超過	12	2	0	0	0	0	なし

【注】2013年度のクラブ数は、新入会クラブの所属リーグにおける財務数値を基準としている

※新潟、山口は2期連続赤字
 ※琉球は3期連続赤字
 (財務基準には抵触しない)

Appendix

2-1. 決算数値の概要： J1・J2・J3クラブ合計



【注】 柏・湘南・磐田・Y S横浜を除いた50クラブでの比較

- J1・J2・J3合計で、前年と比較すると営業収益+131億円、営業費用+118億円であり、拡大均衡となっている
- 当期純利益は、前年並みの10億円黒字となっている

(百万円)

	J1合計			J2合計			J3合計			J1+J2+J3合計			
	2017年度 (16クラブ)	2018年度 (15クラブ)	前年比	2017年度 (21クラブ)	2018年度 (22クラブ)	前年比	2017年度 (13クラブ)	2018年度 (13クラブ)	前年比	2017年度 (50クラブ)	2018年度 (50クラブ)	前年比	
1 営業収益	66,197	74,724	+8,527	29,513	33,893	+4,380	5,811	6,013	+202	101,521	114,630	+13,109	★
2 スポンサー収入	28,869	33,274	+4,405	14,914	17,817	+2,903	3,172	3,336	+164	46,955	54,427	+7,472	
3 入場料収入	13,304	12,907	▲397	4,161	4,368	+207	431	395	▲36	17,896	17,670	▲226	★
4 Jリーグ配分金	7,601	7,256	▲345	3,118	3,692	+574	452	453	+1	11,171	11,401	+230	
5 アカデミー関連収入	2,621	2,530	▲91	1,430	1,693	+263	489	464	▲25	4,540	4,687	+147	
6 物販収入	5,642	6,782	+1,140	1,899	2,016	+117	306	289	▲17	7,847	9,087	+1,240	
7 その他収入	8,160	11,975	+3,815	3,989	4,308	+319	961	1,076	+115	13,110	17,359	+4,249	★
8 営業費用	65,748	72,141	+6,393	28,539	33,662	+5,123	5,864	6,238	+374	100,151	112,041	+11,890	
9 チーム人件費	30,597	35,033	+4,436	12,504	14,975	+2,471	1,920	2,269	+349	45,021	52,277	+7,256	★
10 試合関連経費	5,626	5,133	▲493	2,074	2,566	+492	496	414	▲82	8,196	8,113	▲83	
11 トップチーム運営経費	5,662	5,858	+196	3,263	4,080	+817	818	882	+64	9,743	10,820	+1,077	
12 アカデミー運営経費	1,902	2,083	+181	1,164	1,284	+120	292	270	▲22	3,358	3,637	+279	
13 女子チーム運営経費	229	202	▲27	139	214	+75	42	39	▲3	410	455	+45	
14 物販関連費	4,060	4,784	+724	1,286	1,393	+107	189	185	▲4	5,535	6,362	+827	
15 販売費および一般管理費	17,672	19,048	+1,376	8,110	9,152	+1,042	2,107	2,180	+73	27,889	30,380	+2,491	
16 営業利益	450	2,583	+2,133	974	231	▲743	▲54	▲225	▲171	1,370	2,589	+1,219	
17 営業外収益	392	282	▲110	135	265	+130	45	40	▲5	572	587	+15	
18 営業外費用	128	970	+842	119	82	▲37	21	39	+18	268	1,091	+823	
19 経常利益	714	1,895	+1,181	989	414	▲575	▲29	▲224	▲195	1,674	2,085	+411	
20 特別利益	317	330	+13	2	0	▲2	24	25	+1	343	355	+12	
21 特別損失	112	48	▲64	38	99	+61	19	3	▲16	169	150	▲19	
22 税引前当期利益	919	2,177	+1,258	954	315	▲639	▲23	▲202	▲179	1,850	2,290	+440	
23 法人税および住民税	464	1,139	+675	259	112	▲147	8	10	+2	731	1,261	+531	
24 当期純利益(損失)	455	1,038	+583	697	203	▲494	▲32	▲212	▲180	1,120	1,029	▲91	★

※数値は、各クラブの百万円単位の金額を単純合計したものであり、端数処理の関係で、合計数値が一部一致しないところがある。

※賞金は、Jリーグ配分金ではなくその他収入に含まれている。

※J1、J2の2017年度と2018年度のクラブ数の違いは、3月決算である湘南が2018年にJ2からJ1へ昇格したことが理由である。

2-2. 決算数値の概要： J1・J2・J3クラブ平均



【注】 柏・湘南・磐田・Y S横浜を除いた50クラブでの比較

- ・ 上位と下位のリーグ間の営業収益にはそれぞれ3倍以上の差があり、前年よりその差は広がっている
- ・ リーグ間の構成比を比較すると、どのリーグでもスポンサー収入の比率は高いが、上位リーグほど入場料収入比率が高い。チーム人件費比率も上位リーグの方が高くなっている

	J1平均						J2平均						J3平均						J1+J2+J3平均		
	2017年度 (16クラブ)		2018年度 (15クラブ)				2017年度 (21クラブ)		2018年度 (22クラブ)				2017年度 (13クラブ)		2018年度 (13クラブ)				2017年度 (50クラブ)	2018年度 (50クラブ)	前年比
	金額	構成比	金額	前年比	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年比	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年比	金額	構成比	金額	前年比	
1 営業収益	4,137	100%	4,982	+844	100%	1,405	100%	1,541	+135	100%	447	100%	463	+16	100%	2,059	2,392	+334	★		
2 スポンサー収入	1,804	44%	2,218	+414	45%	710	51%	810	+100	52%	244	55%	257	+13	55%	953	1,133	+180	★		
3 入場料収入	832	20%	860	+29	17%	198	14%	199	+0	13%	33	7%	30	▲3	7%	362	371	+9			
4 Jリーグ配分金	475	11%	484	+9	10%	148	10%	168	+19	11%	35	8%	35	+0	7%	226	238	+11			
5 アカデミー関連収入	164	4%	169	+5	3%	68	5%	77	+9	5%	38	8%	36	▲2	8%	92	97	+5			
6 物販収入	353	9%	452	+100	9%	90	7%	92	+1	6%	24	5%	22	▲1	5%	159	191	+32			
7 その他収入	510	12%	798	+288	16%	190	13%	196	+6	13%	74	17%	83	+9	18%	266	363	+97			
8 営業費用	4,109	100%	4,809	+700	100%	1,359	100%	1,530	+171	100%	451	100%	480	+29	100%	2,030	2,337	+307			
9 チーム人件費	1,912	46%	2,336	+423	49%	595	44%	681	+85	44%	148	33%	175	+27	36%	912	1,092	+180	★		
10 試合関連経費	352	9%	342	▲9	7%	99	7%	117	+18	8%	38	8%	32	▲6	7%	166	169	+3			
11 トップチーム運営経費	354	9%	391	+37	8%	155	11%	185	+30	12%	63	14%	68	+5	14%	198	224	+26			
12 アカデミー運営経費	119	3%	139	+20	3%	55	4%	58	+3	4%	22	5%	21	▲2	4%	68	76	+7			
13 女子チーム運営経費	14	0%	13	▲1	0%	7	0%	10	+3	1%	3	1%	3	▲0	1%	8	9	+1			
14 物販関連経費	254	6%	319	+65	7%	61	5%	63	+2	4%	15	3%	14	▲0	3%	112	134	+22			
15 販売費および一般管理費	1,105	27%	1,270	+165	26%	386	29%	416	+30	27%	162	36%	168	+6	35%	566	633	+67			
16 営業利益	28	-	172	+144	-	46	-	11	▲36	-	▲4	-	▲17	▲13	-	28	55	+27			
17 営業外収益	25	-	19	▲6	-	6	-	12	+6	-	3	-	3	▲0	-	12	12	+1			
18 営業外費用	8	-	65	+57	-	6	-	4	▲2	-	2	-	3	+1	-	5	23	+18			
19 経常利益	45	-	126	+82	-	47	-	19	▲28	-	▲2	-	▲17	▲15	-	34	44	+10			
20 特別利益	20	-	22	+2	-	0	-	0	▲0	-	2	-	2	+0	-	7	8	+1			
21 特別損失	7	-	3	▲4	-	2	-	5	+3	-	1	-	0	▲1	-	3	3	▲0			
22 税引前当期利益	57	-	145	+88	-	45	-	14	▲31	-	▲2	-	▲16	▲14	-	38	49	+11			
23 法人税および住民税	29	-	76	+47	-	12	-	5	▲7	-	1	-	1	+0	-	15	27	+12			
24 当期純利益（損失）	28	-	69	+41	-	33	-	9	▲24	-	▲2	-	▲16	▲14	-	23	22	▲1			

※数値は、各クラブの百万円単位の金額を単純合計したものであり、端数処理の関係で、合計数値および前年比が一部一致しないところがある。

※賞金は、Jリーグ配分金ではなくその他収入に含まれている。

※J1、J2の2017年度と2018年度のクラブ数の違いは、3月決算である湘南が2018年にJ2からJ1へ昇格したことが理由である。

2-3. 決算数値の概要：成長率比較



【注】 柏・湘南・磐田・Y S横浜を除いた50クラブでの比較

- 全体の営業収益成長率は112.9%となったが、スポンサー収入の増加が大きく貢献している

【J1+J2+J3】

(百万円)

	2016年度	2017年度	2017年度		2018年度	2018年度		
			前年比	成長率		前年比	成長率	
営業収益	91,402	101,521	+10,119	111.1%	114,630	+13,109	112.9%	★
内スポンサー収入	44,118	46,955	+2,837	106.4%	54,427	+7,472	115.9%	★
内入場料収入	17,087	17,896	+809	104.7%	17,670	▲226	98.7%	
内Jリーグ配分金	5,613	11,171	+5,558	199.0%	11,401	+230	102.1%	
営業収益 (除くJリーグ配分金)	85,789	90,350	+4,561	105.3%	103,229	+12,879	114.3%	

2-4. 営業収益（売上高）の推移

【注】 柏・湘南・磐田・Y S横浜を除いた50クラブでの比較

2018-2017年度比較（50クラブ） 増収36クラブ、減収14クラブ
J 1クラブがリーグ全体の成長を強くけん引している

【J 1】 (百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	前年比
1 札幌	1,902	2,676	2,988	+312
2 仙台	2,285	2,709	2,684	▲25
3 鹿島	5,582	5,228	7,330	+2,102
4 浦和	6,606	7,971	7,549	▲422
5 柏	3月決算	3月決算	3月決算	-
6 F C東京	4,541	4,588	4,844	+256
7 川崎F	4,254	5,123	6,074	+951
8 横浜F M	4,696	4,765	5,138	+373
9 湘南	-	-	3月決算	-
10 清水	3,341	4,010	3,983	▲27
11 磐田	3月決算	3月決算	3月決算	-
12 名古屋	4,713	4,594	5,491	+897
13 G大阪	5,146	4,966	5,159	+193
14 C大阪	3,008	3,976	3,871	▲105
15 神戸	3,865	5,237	9,666	+4,429
16 広島	3,794	3,424	3,367	▲57
17 鳥栖	2,766	3,350	4,257	+907
18 長崎	749	1,120	2,323	+1,203
合計	57,248	63,737	74,724	+10,987

総合計 91,402 101,521 114,630 +13,109

【J 2】 (百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	前年比
1 山形	1,497	1,576	1,698	+122
2 水戸	589	578	621	+43
3 栃木	639	658	962	+304
4 大宮	3,203	3,685	3,972	+287
5 千葉	2,556	2,593	2,893	+300
6 東京V	1,391	1,622	1,852	+230
7 町田	626	709	755	+46
8 横浜F C	1,064	1,244	1,522	+278
9 甲府	1,523	1,727	1,511	▲216
10 松本	1,935	1,991	2,239	+248
11 新潟	2,908	2,762	2,493	▲269
12 金沢	612	656	736	+80
13 岐阜	932	951	1,090	+139
14 京都	1,743	1,857	1,848	▲9
15 岡山	1,271	1,433	1,502	+69
16 山口	880	1,019	1,126	+107
17 讃岐	613	696	704	+8
18 徳島	1,443	1,639	1,688	+49
19 愛媛	630	769	789	+20
20 福岡	1,836	1,979	1,831	▲148
21 熊本	720	840	933	+93
22 大分	797	1,023	1,128	+105
合計	29,408	32,007	33,893	+1,886

【J 3】 (百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	前年比
1 盛岡	142	281	483	+202
2 秋田	288	360	435	+75
3 福島	326	359	367	+8
4 群馬	522	624	462	▲162
5 Y S横浜	3月決算	3月決算	3月決算	-
6 相模原	263	282	331	+49
7 長野	687	702	675	▲27
8 富山	515	539	482	▲57
9 藤枝	165	210	291	+81
10 沼津	-	361	386	+25
11 鳥取	412	458	475	+17
12 北九州	855	864	794	▲70
13 鹿児島	377	496	493	▲3
14 琉球	194	241	339	+98
合計	4,746	5,777	6,013	+236

※ J 1・J 2・J 3の所属は、2018シーズンのものである。【凡例】 : J 1所属 : J 2所属 : J 3所属

※ J 3合計および総合計には八戸は含まれていない。

※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。

※ 前年と同クラブ数での比較を行うため、湘南の2016年度と2017年度の数値は除外。

2-5. スポンサー収入の推移



【注】 柏・湘南・磐田・Y S横浜を除いた50クラブでの比較

2018-2017年度比較（50クラブ） 増収40クラブ、減収10クラブ 前年比+75億円の増加

【J1】 (百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	前年比
1 札幌	882	1,070	1,306	+236
2 仙台	908	1,183	1,137	▲46
3 鹿島	1,958	1,917	2,156	+239
4 浦和	2,593	3,193	3,226	+33
5 柏	3月決算	3月決算	3月決算	-
6 F C東京	1,935	1,717	1,988	+271
7 川崎F	1,809	1,854	1,478	▲376
8 横浜FM	2,366	2,111	2,033	▲78
9 湘南	-	-	3月決算	-
10 清水	1,767	1,797	1,757	▲40
11 磐田	3月決算	3月決算	3月決算	-
12 名古屋	3,088	2,856	3,345	+489
13 G大阪	1,817	1,800	1,845	+45
14 C大阪	1,738	1,600	1,786	+186
15 神戸	2,221	3,352	6,208	+2,856
16 広島	1,620	1,546	1,530	▲16
17 鳥栖	1,631	1,574	2,296	+722
18 長崎	359	539	1,183	+644
合計	26,692	28,109	33,274	+5,165

【J2】 (百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	前年比
1 山形	426	429	469	+40
2 水戸	199	195	205	+10
3 栃木	409	408	525	+117
4 大宮	2,077	2,296	2,611	+315
5 千葉	1,659	1,704	1,994	+290
6 東京V	667	779	847	+68
7 町田	299	343	370	+27
8 横浜FC	569	698	924	+226
9 甲府	736	774	760	▲14
10 松本	889	953	991	+38
11 新潟	1,049	1,085	1,127	+42
12 金沢	319	294	328	+34
13 岐阜	522	474	557	+83
14 京都	1,122	1,129	1,243	+114
15 岡山	564	703	763	+60
16 山口	340	439	506	+67
17 讃岐	262	292	268	▲24
18 徳島	991	1,103	1,098	▲5
19 愛媛	280	302	324	+22
20 福岡	618	621	990	+369
21 熊本	319	351	431	+80
22 大分	404	443	486	+43
合計	14,720	15,815	17,817	+2,002

【J3】 (百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	前年比
1 盛岡	73	116	118	+2
2 秋田	184	198	255	+57
3 福島	230	237	246	+9
4 群馬	266	267	228	▲39
5 Y S横浜	3月決算	3月決算	3月決算	-
6 相模原	177	181	212	+31
7 長野	402	407	417	+10
8 富山	365	372	321	▲51
9 藤枝	121	144	228	+84
10 沼津	-	166	186	+20
11 鳥取	213	233	245	+12
12 北九州	384	384	394	+10
13 鹿児島	252	261	330	+69
14 琉球	39	65	156	+91
合計	2,706	3,031	3,336	+305

総合計 44,118 46,955 54,427 +7,472

※ J1・J2・J3の所属は、2018シーズンのもので、【凡例】 : J1所属 : J2所属 : J3所属

※ J3合計および総合計には八戸は含まれていない。

※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。

※ 前年と同クラブ数での比較を行うため、湘南の2016年度と2017年度の数値は除外。

2-6. 入場料収入の推移



【注】 柏・湘南・磐田・Y S横浜を除いた50クラブでの比較

2018-2017年度比較（50クラブ） 増収23クラブ、減収26クラブ 前年比▲2億円の減少

【J1】 (百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	前年比
1 札幌	457	622	636	+14
2 仙台	608	619	608	▲11
3 鹿島	869	894	978	+84
4 浦和	2,375	2,337	1,923	▲414
5 柏	3月決算	3月決算	3月決算	-
6 FC東京	961	1,026	947	▲79
7 川崎F	907	1,038	975	▲63
8 横浜FM	1,005	1,018	1,127	+109
9 湘南	-	-	3月決算	-
10 清水	494	625	582	▲43
11 磐田	3月決算	3月決算	3月決算	-
12 名古屋	761	824	936	+112
13 G大阪	1,390	1,266	1,152	▲114
14 C大阪	510	839	618	▲221
15 神戸	427	514	840	+326
16 広島	563	496	500	+4
17 鳥栖	553	631	678	+47
18 長崎	74	115	407	+292
合計	11,954	12,864	12,907	+43

【J2】 (百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	前年比
1 山形	182	172	178	+6
2 水戸	86	83	84	+1
3 栃木	66	59	115	+56
4 大宮	398	397	339	▲58
5 千葉	333	337	332	▲5
6 東京V	164	186	178	▲8
7 町田	92	94	108	+14
8 横浜FC	150	171	167	▲4
9 甲府	342	353	297	▲56
10 松本	528	494	503	+9
11 新潟	679	629	507	▲122
12 金沢	70	60	69	+9
13 岐阜	128	111	131	+20
14 京都	200	205	173	▲32
15 岡山	200	190	176	▲14
16 山口	220	204	212	+8
17 讃岐	107	87	74	▲13
18 徳島	125	136	135	▲1
19 愛媛	78	74	56	▲18
20 福岡	275	190	174	▲16
21 熊本	135	111	106	▲5
22 大分	157	250	254	+4
合計	4,715	4,593	4,368	▲225

【J3】 (百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	前年比
1 盛岡	10	13	9	▲4
2 秋田	12	16	20	+4
3 福島	12	12	12	0
4 群馬	75	67	43	▲24
5 Y S横浜	3月決算	3月決算	3月決算	-
6 相模原	35	26	35	+9
7 長野	73	59	46	▲13
8 富山	37	34	28	▲6
9 藤枝	7	7	8	+1
10 沼津	-	22	16	▲6
11 鳥取	40	33	34	+1
12 北九州	80	124	107	▲17
13 鹿児島	27	21	27	+6
14 琉球	10	5	10	+5
合計	418	439	395	▲44

総合計	17,087	17,896	17,670	▲226
-----	--------	--------	--------	------

- ※ J1・J2・J3の所属は、2018シーズンのものである。【凡例】 : J1所属 : J2所属 : J3所属
- ※ J3合計および総合計には八戸は含まれていない。
- ※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。
- ※ 前年と同クラブ数での比較を行うため、湘南の2016年度と2017年度の数値は除外。

2-7. チーム人件費の推移



【注】 柏・湘南・磐田・Y S横浜を除いた50クラブでの比較

2018-2017年度比較 (50クラブ) 増加38クラブ、減少10クラブ
前年比+73億円の増加

【J1】 (百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	前年比
1 札幌	703	1,206	1,502	+296
2 仙台	1,187	1,165	1,232	+67
3 鹿島	1,929	2,382	3,157	+775
4 浦和	2,381	2,644	3,108	+464
5 柏	3月決算	3月決算	3月決算	-
6 FC東京	2,025	2,010	2,133	+123
7 川崎F	1,643	2,339	2,614	+275
8 横浜FM	1,966	2,118	2,301	+183
9 湘南	-	-	3月決算	-
10 清水	1,473	1,680	1,811	+131
11 磐田	3月決算	3月決算	3月決算	-
12 名古屋	1,984	1,843	2,823	+980
13 G大阪	1,900	2,212	2,193	▲19
14 C大阪	1,494	2,334	2,334	0
15 神戸	2,068	3,104	4,477	+1,373
16 広島	1,553	1,602	1,864	+262
17 鳥栖	1,476	1,899	2,670	+771
18 長崎	322	494	814	+320
合計	24,104	29,032	35,033	+6,001

【J2】 (百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	前年比
1 山形	429	438	524	+86
2 水戸	262	261	275	+14
3 栃木	228	229	353	+124
4 大宮	1,411	1,792	1,915	+123
5 千葉	899	1,177	1,272	+95
6 東京V	436	572	733	+161
7 町田	189	228	278	+50
8 横浜FC	464	533	734	+201
9 甲府	736	883	747	▲136
10 松本	863	956	1,145	+189
11 新潟	1,220	1,227	1,108	▲119
12 金沢	296	309	331	+22
13 岐阜	419	316	365	+49
14 京都	965	852	692	▲160
15 岡山	568	638	638	0
16 山口	231	399	468	+69
17 讃岐	287	345	301	▲44
18 徳島	731	814	952	+138
19 愛媛	306	316	353	+37
20 福岡	937	1,000	909	▲91
21 熊本	315	354	400	+46
22 大分	266	367	482	+115
合計	12,458	14,006	14,975	+969

【J3】 (百万円)

	2016年度	2017年度	2018年度	前年比
1 盛岡	87	87	268	+181
2 秋田	94	114	148	+34
3 福島	120	119	125	+6
4 群馬	228	292	223	▲69
5 Y S横浜	3月決算	3月決算	3月決算	-
6 相模原	80	92	109	+17
7 長野	281	281	293	+12
8 富山	191	200	195	▲5
9 藤枝	32	59	119	+60
10 沼津	-	100	118	+18
11 鳥取	142	112	106	▲6
12 北九州	343	308	287	▲21
13 鹿児島	119	138	179	+41
14 琉球	84	81	99	+18
合計	1,801	1,983	2,269	+286

総合計	38,363	45,021	52,277	+7,256
-----	--------	--------	--------	--------

※ J1・J2・J3の所属は、2018シーズンのものである。【凡例】 : J1所属 : J2所属 : J3所属

※ J3合計および総合計には八戸は含まれていない。

※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。

※ 前年と同クラブ数での比較を行うため、湘南の2016年度と2017年度の数値は除外。

3 - 1. 3期連続赤字禁止ルールの改定について



- (1) クラブライセンス制度施行前には経営的に不安定なクラブが数多く存在したことから、クラブの経営安定化を主目的として財務基準に債務超過禁止および3期連続赤字禁止というルールが制定された。
- (2) クラブライセンスの施行（2012年）後、赤字クラブ数および債務超過クラブ数は大きく減少し、クラブの経営安定化は進んだ。
- (3) 一方で、現在のクラブの財務状態から鑑みれば、今の財務基準は一部のクラブに過度に保守的な経営判断を行わせる可能性があるとの指摘があがった。
- (4) そのため、経営検討部会クラブライセンス財務基準分科会を発足し、財務基準改定の必要性について議論を行い、理事会の承認を経て、2018年から新ルールが施行された。

Jリーグクラブライセンス（J1・J2ライセンス）改定の趣旨（J3クラブライセンスは変更なし）

3期以上連続で赤字が発生したとしても、**連続赤字の最終年度における期末純資産残高が当該年度の赤字額の絶対値を上回っている場合は不交付としない**こととする。

新改定案のメリット

- ① 内部留保を活用した大規模投資がしやすくなる
- ② 純資産に余裕がある状況下では、予測出来ない費用を意識した緊縮予算を組む必要が無くなる
- ③ 少額赤字を気にせず、収支均衡を目指しやすくなる

3 - 2. 3期連続赤字禁止ルールの改定について



【Jリーグクラブライセンス交付規則運用細則】

改訂前（2017年申請）

規則番号： F.01 等級： A

年次財務諸表（監査済み）

（抜粋）

3. 判定

判定は、原則としてライセンス申請者の個別財務諸表で行うものとする。ただし、第3項第2号に該当する場合には、この限りではない。

（中略）

(2)提出された財務諸表に基づいて審査を行い、以下のいずれかに該当する場合は基準F.01を満たさないものとする。

①3期連続で当期純損失を計上した場合

②ライセンスを申請した日の属する事業年度の前年度末日現在、純資産の金額がマイナスである（債務超過である）場合

③ Jリーグからの指摘に基づき、過年度の決算の修正が必要となった場合において、過年度の決算を修正した結果、前2号に示す事態となった場合

（後略）

現行（2019年申請）

規則番号： F.01 等級： A

年次財務諸表（監査済み）

（抜粋）

3. 判定

判定は、原則としてライセンス申請者の個別財務諸表で行うものとする。ただし、第3項第2号に該当する場合には、この限りではない。

（中略）

(2)提出された財務諸表に基づいて審査を行い、以下のいずれかに該当する場合は基準F.01を満たさないものとする。

①3期**以上**連続で当期純損失を計上した場合 **（ただし、ライセンスを申請した日の属する事業年度の前年度末日現在の純資産残高がライセンスを申請した日の属する事業年度の前年度の当期純損失の額の絶対値を上回っている場合は本項目に該当しないものとみなす）**

②ライセンスを申請した日の属する事業年度の前年度末日現在、純資産の金額がマイナスである（債務超過である）場合

③ Jリーグからの指摘に基づき、過年度の決算の修正が必要となった場合において、過年度の決算を修正した結果、前2号に示す事態となった場合

（後略）

※上記は、2018年より既に運用が開始されております。

4 - 1. J 1・J 2ライセンスとJ 3ライセンスの違い



	J 1・J 2ライセンス	J 3ライセンス	備考
申請頻度	年次（毎年翌シーズンのライセンスを申請）		
ライセンス基準	①競技、②施設、③人事体制・組織運営、④法務、⑤財務の5基準 ※基準に紐づく審査項目は原則同じだが、J 3ライセンスとJ 1・J 2ライセンスで求められる水準が異なるものもある		[水準が異なる項目の例] ・独立会計監査人による監査義務 ・ホームスタジアムの設備 ・設置すべき指導者の資格
判定機関	外部専門家による第三者機関 (クラブライセンス交付 第一審機関「F I B」)	Jリーグ理事会	J 1・J 2ライセンスはA F Cより導入を義務付けられた制度であるが、J 3ライセンスは日本独自の制度
規程	Jリーグクラブライセンス交付規則・ 交付規則運用細則	J 3クラブライセンス交付規則	

4 - 2. 「赤字」と「債務超過」の違い

1. 損益総括

(百万円)

	金額
営業収益	791
スポンサー収入	418
入場料収入	131
Jリーグ配分金	96
アカデミー関連収入	29
物販収入	45
その他収入	72
営業費用	907
チーム人件費	338
試合関連経費	92
トップチーム運営経費	143
アカデミー運営経費	30
女子チーム運営経費	0
物販関連費	31
販売費および一般管理費	273
営業利益	▲ 116
経常利益	▲ 115
税引前当期利益	▲ 115
法人税および住民税等	1
当期純利益 (損失)	▲ 116

2. 貸借対照表

(百万円)

	金額
流動資産	119
固定資産	40
資産の部 合計	159
流動負債	211
固定負債	4
負債の部 合計	215
資本金	285
資本剰余金	85
利益剰余金	▲ 426
資本 (純資産) の部 合計	▲ 56

債務超過を解消する = (純資産を0以上にする) 方法

- (1) 資本金を増やす
→ 増資の実行 (資本金を出す人を募る)
- (2) 利益剰余金を増やす (マイナスを消す)
→ 当期純利益を出す
 - 費用を削減して利益を出す
(チーム人件費、試合運営費、etc.)
 - 収入を増やして利益を出す
(広告料、入場料、etc.)

したがって左のクラブの場合、債務超過解消には、

- ① 5,600万円以上の増資
- ② 5,600万円以上の当期純利益
- ③ 増資と利益の合計が5,600万円以上

のいずれかの手段を取らなければならない。

出資や増資等で得た資金はここにカウント

→これまでの黒字 (赤字) の累積

→ここがマイナスなら「債務超過」